

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金  
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業))  
「健やかな親子関係を確立するためのプログラムの開発と有効性の評価に  
関する研究 (H29-健やか-一般-004)」 分担研究報告書

## 地域子育て支援と医療・保健との連携についての実態及びニーズの調査 —多胎児の育児および多胎児世帯の支援にも焦点を当てた研究—

研究分担者 松田妙子 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会代表理事)  
研究協力者 水本深喜 (国立成育医療研究センター こころの診療部)

### 研究要旨

#### 背景

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会の行った利用者調査では、自分が育った市町村で子育てをしていない「アウェイ育児」である保護者が 7 割を超えている。特に育てにくさを感じる家庭への支援においては、日常の子育ての中で実家機能をもった身近な場所である地域子育て支援拠点が、母子保健分野・医療機関と連携し、細やかな対応に取り組むことが必要である。加えて、近年不妊治療の増加より多胎児出産が増加しており、多胎児妊娠・出産・育児には、母親の身体的・精神的負担の大きさが推察される。こうしたことから、多胎児妊娠・出産・育児のニーズに応じた育児支援が必要となる。

これらより本研究では、地域子育て支援拠点の、行政や医療機関との連携の実態を把握し、子育て支援者は、多胎児育児に対して、どこに大変さがあると感じ、どのような支援を必要と感じているのかの実態を把握することを目的とする。

#### 方法

地域子育て支援拠点事業と行政 (特に母子保健分野) との連携や協働について岡山県総社市と福島県白河市にてヒアリングを実施した。ヒアリング内容を元に、連携の実際についてのアンケートを作成、全国の地域子育て支援拠点を対象に実施した。Google フォームを活用したアンケート、web もしくは fax、メール添付の方法で回収した。回答数は、地域連携のアンケートで 135 部、多胎児育児支援のアンケートで 197 部であった。

#### 結果

ヒアリングでは、行政直営ではない地域子育て支援拠点の運営者と母子保健担当者との関係においても、気になる家庭へのフォローや協働してのプログラムの実施など、多岐にわたる連携が行われている様子がうかがえた。連携項目については、保健師と拠点運営者で難易度を話し合ってもらい、順番をつけた。また、拠点と母子保健担当者との連携によるプログラムへの希望や期待について

て聞き取った。十分に連携している自治体はアンケート項目の内容をほぼ実践しており、それがあたりまえで行われていることが聞き取れた。そのような連携が成り立つポイントとして、以下の働きが見受けられた。

一度仕組みになると継続しやすい②母親学級やプログラムでの連携などを通して定期的な顔を合わせる機会が多くつくっている③地区担当保健師とのやりとりだけでなく、組織で理解、対応している④子育て世代包括支援センターのメニュー「妊産婦出張支援相談」等を活用して拠点に出向いている⑤母子手帳配布時のプランづくりの際に紹介している。

アンケートでは、難易度が低く取り組みやすいであろうとした3項目については、やはり多くのところが実施しているという結果がみられた。また、拠点からの母子保健分野への働きかけの項目については実施しているところが多く見られたが、母親学級への参画や共催など母子保健分野から拠点に協力を求める項目については取り組みが少なかった。

「保健師に知ってほしいこと」は615通のうち、492回答あり、拠点や地域での親子の様子を知ってほしいといった内容が20パーセント拠点を訪ねたり、その意義を知ってほしい（26パーセント）地域のネットワークや支援者の働きを知ってほしい（19パーセント）と、地域での子育て支援の現状や支援者の働き、場を実際に見てつながって欲しいという回答が45パーセントにのぼった。

また、「どんな連携が必要か」という自由記述は87通（全体の14パーセント）と回答者が少なく、情報共有や顔の見える関係づくりを期待する回答が目立った。回答が少ないのは具体的な連携方法については思いつかない面があると考えると、多様な取り組みの例示や、実際の好事例を示す必要がある。

#### 今後の課題

母子保健分野からの拠点へのアプローチ強化を具体的にするための方法、マニュアル、研修プログラムをつくっていく必要がある。医療機関と地域子育て支援拠点との連携については、まずは拠点を知り、顔がみえる関係づくりが求められており、情報共有が期待されている。医療機関への周知が必要である。

#### A. 研究目的

地域を基盤とした子育ての支援において、地域子育て支援拠点事業は、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤立感、負担感の解消を図り、すべての子育て家庭を地域で支える取り組みとしてその拡充が図られてきた。そこには、3歳未満児の約7～8割は家庭で子育てしていること、核家族化、

地域のつながりの希薄化、男性の子育てへの関わりが少ないなどを背景とした子育ての孤立化、不安感負担感の高まり、子どもが多様な大人や子どもとの関わりが減少していることが課題とされてきた。NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会の行った利用者調査では、自分が育った市町村で子育てをしていない「アウェイ育児」である保護者が7割を超えている。

特に育てにくさを感じる家庭への支援においては、日常の子育ての中で実家機能をもった身近な場所である地域子育て支援拠点が、母子保健分野・医療機関と連携し、細やかな対応に取り組むことが必要である。そのためには、地域子育て支援拠点が実際に行政や医療機関とどのように連携しているのかを把握し、より良い支援のための連携方法を考える必要がある。

近年の妊娠出産状況の傾向のひとつとして、不妊治療数の増加に伴う多胎児妊娠・出産の増加が挙げられる。多胎児の妊娠・出産・育児は、単胎児妊娠・出産・育児に比べ、母体合併症の頻度が高く、妊娠を知って「嬉しくない」「不安である」と感じる人が多く[1]、育児では睡眠時間があるという[2]。また、児はより低体重であり、より高い確率で障害を伴う。多胎児育児においては単胎育児に比較して児童虐待のリスクも高いという[3]。このように、多胎児妊娠・出産・育児は、単胎と母親にかかる身体的・精神的負担が高いと言える。こうしたことから、多胎児妊娠・出産・育児のニーズに応じた育児支援が必要となる。

それでは、多胎児育児に対して、どのような子育て支援がなされているのであろうか。そこで本研究では、子育て支援の支援者からみて多胎児育児のどこに大変さがあると感じているか、どんな支援が必要と感じるか等ついて、実態を把握する。

こうしたことから本研究では、地域子育て支援拠点の、行政や医療機関との連携の実態把握を目的とする。加えて、子育て支援者は、多胎児育児に対してどこ

に大変さがあると感じ、どのような支援を必要と感じているのかの実態を把握することも目的とする。

## B. 研究方法

地域子育て支援拠点事業と行政（特に母子保健分野）との連携や協働について、岡山県総社市と福島県白河市にてヒアリングを実施した。ヒアリング内容を元に、連携の実態についてのアンケートを作成し、全国の地域子育て支援拠点を対象に実施。Google フォーム、web もしくは fax、メール添付の方法で回収した。回答数は、地域連携のアンケートで 135 部、多胎児育児支援のアンケートで 197 部であった。

### 質問紙の構成 1. 地域子育て支援拠点と行政・医療機関との連携に関する質問

1-1. 拠点の概要を問う項目 1-2. 保健師や母子保健関係部署との連携 (17 項目)  
1-3. 産科・小児科等医療機関との連携 (10 項目)  
1-4. どのような連携が必要か、医療機関に知ってもらいたいこと (自由記述) であった。

### 2. 多胎児の育児および多胎児世帯の支援に関する質問

2-1. 活動団体について (9 項目)、2-2. 多胎児および多胎児世帯に配慮または特化した取り組み (3 項目)、2-3. 多胎児世帯特有の困りごとやニーズを問う質問 (25 項目)、2-4. 多胎児世帯支援で特に配慮している点 (自由記述)、2-5. 多胎児支援等の団体や自治体との連携 (3 項目)、2-6. 多胎児世帯に必要なと思われる支援 (妊娠期、子育て期各 18 項目)、2-7. 子育て支援に必要な多胎児世帯支援 (11 項目)、2-8. 自治

体に期待すること(自由記述)であった。

### C. 研究結果

ヒアリングでは、行政直営ではない地域子育て支援拠点の運営者と母子保健担当者との関係においても、気になる家庭へのフォローや協働してのプログラムの実施など、多岐にわたる連携が行われている様子がうかがえた。連携項目については、保健師と拠点運営者で難易度を話し合ってもらい、順番をつけた。また、拠点と母子保健担当者との連携によるプログラムへの希望や期待について聞き取った。

アンケートでは、難易度が低く取り組みやすいであろうとした3項目については、多くのところが実施しているという結果がみられた。また、拠点からの母子保健分野への働きかけの項目については実施しているところが多く見られたが、母親学級への参画や共催など母子保健分野から拠点に協力を求める項目については取り組みが少なかった。

#### 子育て支援拠点の連携

子育て支援拠点スタッフと保健師や母子保健関係部署との連携では、支援対象者に関する情報や、互いの活動の支援対象者への周知という形での、情報提供という意味での連携を行っているところが多かった。

一方、立ち寄りや合同研修、事例検討など、顔が見える連携は、なされていないところが多かった(Table1)。子育て支援拠点スタッフと医療機関との連携は、総じて、行われていないところが多かった(Table2)。

「保健師に知ってほしいこと」は615通のうち、492回答あり、拠点や地域での親子の様子を知ってほしいといった内容が20%拠点を訪ねたり、その意義を知ってほしい(26%)地域のネットワークや支援者の働きを知ってほしい(19%)と、地域での子育て支援の現状や支援者の働き、場を実際に見てつながって欲しいという回答が合計して45%にのぼった。まずは保健師が地域子育て拠点をはじめとする地域での子育ての実際についての情報や研修、現場を見学したり、関係者と意見交換をする機会が求められている。

また、「どんな連携が必要か」という自由記述は87通(全体の14%)にとどまり、情報共有や顔が見える関係づくりを期待する回答が目立った。

回答が少ないのは具体的な連携方法については思いつかない面があると考え、多様な取り組みの例示や、実際に各地で実践されている例を示す必要がある。

自由記述でみえてきた保健師との具体的な連携内容：特徴的な取り組みを以下に挙げる。

#### ◆拠点からのアウトリーチ

母親学級・両親学級や乳児検診前サロン等のプログラムへ出向いて拠点の紹介、プログラムのグループファシリテーター、役割講演会の時の託児、多胎家庭への教室へ協力、保健センターで行っている身体測定などの日に手伝い、プログラムの一部を任せられ運営

#### ◆拠点への保健師の出張

拠点に訪問してもらい直接親子の相談にのってもらう。

保健師を講師としたプログラムの実施

保健師が親子に同行して拠点につなぐ

#### ◆連携の仕組みの工夫

拠点を管轄する課に保健師を配置し拠点と母子保健をつなぐ

地域の幼稚園と保育所の代表と保健師とセンター指導員が一堂に会し、乳幼児関係者情報交換会を開催

拠点での保健師の研修、母子保健推進員の研修で拠点の紹介

拠点における利用者支援事業を実施しての連携

#### ◆協働事業の実施

家庭訪問同行

中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業

両親学級の開催3日目を拠点で実施

### 多胎児育児支援

多胎児世帯の困りごとやニーズに関しては、支援者は、大半の項目について、多胎児世帯は困難を抱えていると感じていた (Table 3)。多胎児世帯に必要な支援としては、支援者は、妊娠・出産期、子育て期ともに全ての項目について特に支援が必要と感じていた。(Table 4) 多胎児世帯への子育て支援を行っている団体に必要と思われるものについては、支援者は、全ての項目について必要と思っていた。特に、多胎児育児支援や多胎児世帯が抱えている課題などに関する情報が必要であると感じていた (Table 5)。

### D. 考察

子育て支援拠点と、保健師・母子保健関係部署との顔の見える連携、医療機関との連携を促進する必要がある。これに関しては、「子育て世代包括支援センター」が連携のマネジメントや地域づくりに一

役買うことができるかも知れない。

また、育児支援者に、多胎児支援に何が求められ、どのように支援したらよいかに関する情報を、提供する必要がある。母子保健分野からの拠点へのアプローチ強化を具体的にするための方法、マニュアル、研修プログラムをつくっていくことも有効であろう。

そして多胎児出産はハイリスクではあるが、その後の育児期への支援の重要性が周知されていない可能性があり、周知を図る必要がある。

### E. 結論

本研究は、地域子育て支援拠点の、行政や医療機関との連携の実態把握、子育て支援者は、多胎児育児に対して、どこに大変さがあると感じ、どのような支援を必要と感じているかの実態把握を目的として、アンケート調査を行った。

その結果、①子育て支援拠点と、保健師・母子保健関係部署との顔の見える連携、医療機関との連携を促進する必要性、②育児支援者に、多胎児支援に何が求められ、どのように支援したらよいかに関する情報を、提供する必要性、多胎児育児期への支援の重要性の周知を図る必要性が明らかになった。

### 引用文献・出典

1. 横山美江, et al., 多胎児をもつ母親のニーズに関する調査研究 単胎児の母親との比較分析. 日本公衆衛生雑誌, 2004. 51(2): p. 94-102.
2. 横山美江, 単胎児家庭の比較からみた双子家庭における育児問題の

分析. 日本公衆衛生雑誌, 2002.  
49(3): p. 229-235.

3. Tanimura, M., I. Matsui, and N. Kobayashi, Child abuse of one of a pair of twins in Japan. The Lancet, 1990. 336(8726): p. 1298-1299.

## **F. 健康危険情報**

なし

## **G. 研究発表**

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

## **H. 知的財産権の出願・登録状況**

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

## 資料 1

Table1 保健師・母子保健関係部署との連携

		はい	いいえ	合計	$\chi^2$ 検定
拠点の利用者に、母子保健の部署が主催するプログラムの周知協力をしている	度数	117	18	135	***
	%	86.03	13.24	99.26	
保健師さんが、拠点や拠点のプログラムを親子に情報提供してくれる	度数	93	41	134	***
	%	68.38	30.15	98.53	
保健師さんより、こういう人に拠点を紹介したので行くかもしれないと連絡がある	度数	93	41	134	***
	%	68.38	30.15	98.53	
ひろば担当の保健師さんがいる	度数	44	91	135	***
	%	32.35	66.91	99.26	
保健師さんと拠点がプログラムを一緒に開催している	度数	65	70	135	
	%	47.79	51.47	99.26	
保健師さんが親子に同行して拠点にくることがある	度数	55	81	136	*
	%	40.44	59.56	100.00	
保健師さんに親むけのプログラムやスタッフ研修の講師にきてもらっている	度数	76	57	133	
	%	55.88	41.91	97.79	
母親学級、両親学級に拠点スタッフが参加し、参加者に拠点を紹介している	度数	40	91	131	***
	%	29.41	66.91	96.32	
保健師さんが拠点スタッフのミーティングに来てスーパーバイズしてくれる	度数	19	113	132	***
	%	13.97	83.09	97.06	
保健師さんと拠点スタッフの合同研修がある	度数	20	111	131	***
	%	14.71	81.62	96.32	
拠点スタッフが役所に立ち寄り、保健師さんに気になるご家庭への支援について相談できる	度数	93	39	132	***
	%	68.38	28.68	97.06	
保健師さんの研修に拠点から講師に呼ばれる	度数	4	129	133	***
	%	2.94	94.85	97.79	
気になるご家庭の支援内容について、情報交換をしている	度数	96	37	133	***
	%	70.59	27.21	97.79	
気になる家庭の支援の方向性についてミーティングを持ち、関わりの役割分担をしている	度数	55	76	131	
	%	40.44	55.88	96.32	
保健師さんが訪問などで近くに来た際に拠点に立ち寄ってくれる	度数	47	84	131	***
	%	34.56	61.76	96.32	
保健師さんと事例検討を一緒に行っている	度数	42	91	133	***
	%	30.88	66.91	97.79	
健診時に拠点のスタッフが情報提供や手伝いなどで参加している	度数	59	73	132	
	%	43.38	53.68	97.06	

## 資料 2

Table2 産科・小児科等医療機関との連携

		はい	いいえ	合計	$\chi^2$ 検定
医療機関が主催するプログラムを拠点で周知協力をしている	度数	31	100	135	***
	%	22.79	73.53	100.00	
医療機関より、こういう人に拠点を紹介したので行くかもしれないと連絡がある	度数	6	126	132	***
	%	4.41	92.65	97.06	
医療機関に、親むけのプログラムやスタッフ研修の講師にきてもらっている	度数	47	85	132	***
	%	34.56	62.50	97.06	
母親学級、両親学級に拠点スタッフが参加し、参加者に拠点を紹介している	度数	15	117	132	***
	%	11.03	86.03	97.06	
医療機関と拠点がプログラムを一緒に開催している	度数	12	120	132	***
	%	8.82	88.24	97.06	
医療機関が拠点スタッフのミーティングに来てスーパーバイズしてくれる	度数	3	129	132	***
	%	2.21	94.85	97.06	
医療機関で、拠点について親子に情報提供してくれる	度数	27	104	131	***
	%	19.85	76.47	96.32	
支援が必要な家庭についての情報交換をしている	度数	12	120	132	***
	%	8.82	88.24	97.06	
医療機関が拠点に立ち寄ってくれる	度数	4	128	132	***
	%	2.94	94.12	97.06	
医療機関と事例検討を一緒に行っている	度数	5	127	132	***
	%	3.68	93.38	97.06	

## 資料3

Table3 多胎児世帯の困りごとやニーズ

		わからない	単胎児と変わらないと思う	単胎児に比べ少しそう思う	単胎児に比べてとてもそう思う	合計	$\chi^2$ 検定
① 妊娠の経過や出産が心配	度数	20	6	43	120	189	
	%	9.7	2.9	20.8	58.0	91.3	***
② 出産可能な医療機関を知りたい	度数	26	36	56	69	187	
	%	12.6	17.4	27.1	33.3	90.3	***
③ 出産時の上の子の預け先を知りたい	度数	15	55	39	79	188	
	%	7.2	26.6	18.8	38.2	90.8	***
④ 発育・発達が心配	度数	11	33	55	86	185	
	%	5.3	15.9	26.6	41.5	89.4	***
⑤ 授乳に困る	度数	10	6	47	125	188	
	%	4.8	2.9	22.7	60.4	90.8	***
⑥ 沐浴・入浴に困る	度数	10	4	37	137	188	
	%	4.8	1.9	17.9	66.2	90.8	***
⑦ 離乳・食事に困る	度数	9	10	44	125	189	
	%	4.3	4.8	21.3	60.4	91.3	***
⑧ 泣かれると困る	度数	8	15	43	121	188	
	%	3.9	7.2	20.8	58.5	90.8	***
⑨ バラバラに動かれると困る	度数	6	5	42	135	189	
	%	2.9	2.4	20.3	65.2	91.3	***
⑩ ひとりで子どもを連れての外出が大変	度数	5	3	23	157	188	
	%	2.4	1.4	11.1	75.8	90.8	***
⑪ 母自身の産後の健康回復が心配	度数	14	21	62	89	186	
	%	6.8	10.1	30.0	43.0	89.9	***
⑫ 体力がない・疲れがとれない	度数	15	18	58	96	187	
	%	7.2	8.7	28.0	46.4	90.3	***
⑬ 親の睡眠時間が少ない	度数	8	13	54	114	189	
	%	3.9	6.3	26.1	55.1	91.3	***
⑭ 気持ちにゆとりがない	度数	9	29	67	86	191	
	%	4.3	14.0	32.4	41.5	92.3	***
⑮ 精神的に不安になる	度数	11	37	68	74	191	
	%	5.3	17.9	32.9	35.7	92.3	***
⑯ 他の多胎児の親と話したい	度数	9	9	28	144	190	
	%	4.3	4.3	13.5	69.6	91.8	***
⑰ 話を聞いてほしい	度数	8	38	51	92	189	
	%	3.9	18.4	24.6	44.4	91.3	***
⑱ 家族の育児負担が大きい	度数	8	14	57	110	189	
	%	3.9	6.8	27.5	53.1	91.3	***
⑲ 育児の協力者がいない	度数	24	42	60	63	189	
	%	11.6	20.3	29.0	30.4	91.3	***
⑳ 多胎児用育児用品情報がほしい	度数	19	24	62	84	190	
	%	9.2	11.6	30.0	40.6	91.8	***
㉑ 遊びに行く場所の情報がほしい	度数	13	71	55	50	189	
	%	6.3	34.3	26.6	24.2	91.3	***
㉒ 経済的に負担がある	度数	17	20	65	89	191	
	%	8.2	9.7	31.4	43.0	92.3	***
㉓ きょうだいに関わる時間がない	度数	13	25	73	78	189	
	%	6.3	12.1	35.3	37.7	91.3	***
㉔ 就労について	度数	33	54	57	46	190	
	%	15.9	26.1	27.5	22.2	91.8	

資料4

Table4 多胎児世帯に必要な支援

		妊娠・出産期					子育て期						
		わからない	単胎児と変わらないと思う	単胎児に比べ少し必要と思う	単胎児に比べ特に必要と思う	合計	$\chi^2$ 検定	わからない	単胎児と変わらないと思う	単胎児に比べ少し必要と思う	単胎児に比べ特に必要と思う	合計	$\chi^2$ 検定
① 多胎妊娠・出産に関する情報提供	度数	8	12	59	114	193	***	14	26	65	86	191	***
	%	3.9	5.8	28.5	55.1	93.2		6.8	12.6	31.4	41.5	92.3	
② 多胎児に関する育児の情報提供	度数	5	10	63	115	193	***	6	13	68	106	193	***
	%	2.4	4.8	30.4	55.6	93.2		2.9	6.3	32.9	51.2	93.2	
③ 多胎に特化した両親学級	度数	8	23	76	84	192	***	8	24	74	86	192	***
	%	3.9	11.1	36.7	40.6	92.8		3.9	11.6	35.7	41.5	92.8	
④ 保健師等の専門職による相談支援	度数	6	33	66	88	193	***	5	27	76	84	192	***
	%	2.9	15.9	31.9	42.5	93.2		2.4	13.0	36.7	40.6	92.8	
⑤ 保育士等の専門職による相談支援	度数	6	33	66	88	193	***	5	39	75	73	192	***
	%	2.9	15.9	31.9	42.5	93.2		2.4	18.8	36.2	35.3	92.8	
⑥ 多胎児を持つ保護者同士の交流	度数	6	8	60	118	192	***	7	8	57	121	193	***
	%	2.9	3.9	29.0	57.0	92.8		3.4	3.9	27.5	58.5	93.2	
⑦ 家事支援	度数	13	19	79	81	192	***	9	19	77	87	192	***
	%	6.3	9.2	38.2	39.1	92.8		4.3	9.2	37.2	42.0	92.8	
⑧ 育児支援	度数	13	19	79	81	192	***	7	15	73	98	193	***
	%	6.3	9.2	38.2	39.1	92.8		3.4	7.2	35.3	47.3	93.2	
⑨ 産前・産後サポート事業	度数	7	19	65	101	192	***	11	30	75	73	189	***
	%	3.4	9.2	31.4	48.8	92.8		5.3	14.5	36.2	35.3	91.3	
⑩ 産後ケア事業	度数	7	25	67	92	191	***	10	34	74	71	189	***
	%	3.4	12.1	32.4	44.4	92.3		4.8	16.4	35.7	34.3	91.3	
⑪ 外出時の支援	度数	10	19	70	93	192	***	9	15	69	97	190	***
	%	4.8	9.2	33.8	44.9	92.8		4.3	7.2	33.3	46.9	91.8	
⑫ 経済的支援	度数	21	32	77	61	191	***	22	29	70	68	189	***
	%	10.1	15.5	37.2	29.5	92.3		10.6	14.0	33.8	32.9	91.3	
⑬ 道路整備等の環境整備	度数	24	77	57	33	191	***	22	75	54	40	191	***
	%	11.6	37.2	27.5	15.9	92.3		10.6	36.2	26.1	19.3	92.3	
⑭ 保育園入所に対する配慮	度数	10	45	77	61	193	***	8	51	67	66	192	***
	%	4.8	21.7	37.2	29.5	93.2		3.9	24.6	32.4	31.9	92.8	
⑮ 就労に対する支援	度数	17	70	73	32	192	***	18	70	61	43	192	***
	%	8.2	33.8	35.3	15.5	92.8		8.7	33.8	29.5	20.8	92.8	
⑯ 医療機関と保健機関の連携	度数	8	40	69	76	193	***	9	46	79	59	193	***
	%	3.9	19.3	33.3	36.7	93.2		4.3	22.2	38.2	28.5	93.2	
⑰ 保健機関と子育て支援機関の連携	度数	6	45	71	69	191	***	7	47	79	60	193	***
	%	2.9	21.7	34.3	33.3	92.3		3.4	22.7	38.2	29.0	93.2	

## 資料5

Table5 多胎児世帯への子育て支援を行っている団体に必要と思われるもの

		わからない	あまり必要 と思わない	少し必要と 思う	特に必要 と思う		$\chi^2$ 検定
① 多胎妊娠及び出産に関する知識	度数	13	11	81	90	195	***
	%	6.3	5.3	39.1	43.5	94.2	
② 多胎児の育児支援に関する知識・ 技術	度数	8	6	65	117	196	***
	%	3.9	2.9	31.4	56.5	94.7	
③ 多胎及び多胎児世帯の抱えている 課題に関する情報	度数	4	2	63	128	197	***
	%	1.9	1.0	30.4	61.8	95.2	
④ 多胎及び多胎児世帯の希望する支 援施策に関する情報	度数	7	3	80	105	195	***
	%	3.4	1.4	38.6	50.7	94.2	
⑤ 行政での多胎児支援に関する取組 の情報	度数	6	2	82	106	196	***
	%	2.9	1.0	39.6	51.2	94.7	
⑥ 医療機関での多胎児支援に関する 取組の情報	度数	10	4	89	93	196	***
	%	4.8	1.9	43.0	44.9	94.7	
⑦ 民間機関での多胎児支援に関する 取組の情報	度数	10	4	89	93	196	***
	%	4.8	1.9	43.0	44.9	94.7	
⑧ 多胎児の家族会等の情報	度数	10	13	94	71	188	***
	%	4.8	6.3	45.4	34.3	90.8	
⑨ 自治体との連携	度数	7	14	83	84	188	***
	%	3.4	6.8	40.1	40.6	90.8	
⑩ 医療機関との連携	度数	7	21	93	68	189	***
	%	3.4	10.1	44.9	32.9	91.3	